

「おくのほそ道」の学習課題を作ろう

組 番 氏名

[今回の学習のねらい]

古典に興味を持ち、古人の思いを偲ぶ。
芭蕉が体験した人や自然とのふれあいを、インターネットを活用して追体験する。
自分たちの得た情報を発信することにより、学びの輪を広げる。

[学習課題の条件]

学習のねらいに即したものであること。
自分に取り組むべき価値があると思うものであること。
(自分のオリジナルを大切に、友だちなどに左右されたものではないこと。)
自己満足にならず、学習成果が、他の人にとっても価値ある情報になること。
視点(切り込み口)や取り組みの手段があること。

[調査項目の基本形]

1. 芭蕉が訪れたり住んだりした場所の様子を調べる。
2. 「おくのほそ道」の該当部分やその場所に関して芭蕉が書き残した文章の意味をつかむ。
3. その場所に関連する俳句の鑑賞をする。
4. その場所に関するエピソードがないか調査する。

[可能な活動]

1. 芭蕉の「おくのほそ道」ルート探訪
 - A 俳句の生まれた背景を調べる。(土地の風土など)
 - ・インターネットでできること(ネット探訪、協力者へのメールでの質問)
 - ・それ以外の方法でできること(図書、資料、VTR)
 - B 文章の意味をつかむ。
 - C 俳句を鑑賞する。
2. 長浜と「おくのほそ道」(奥の細道ルートに関して)
 - ・芭蕉のたどったルート調べ(実地調査、文献調査)
3. 長浜と芭蕉(芭蕉句碑探訪)
 - ・句碑についての取材
 - 句碑探訪、取材(インタビュー、図書、資料、写真撮影)
 - ・芭蕉関連施設の取材
 - 探訪、取材(インタビュー、図書、資料、写真撮影)
4. 芭蕉の縁の地の調査
 - A 芭蕉の生まれ故郷や生い立ちなどについて
 - B 芭蕉と近江(図書、資料、探訪、パンフレット)
 - ・なぜ幻住庵なのか
 - (かりそめに入りし山の、やがて出でじとさへ思ひそみぬ。)
 - ・なぜ義仲寺なのか(自分の埋葬場所に選んだのは?)

[まとめの活動](情報交換.....WEB化)

- 北中は、「芭蕉ネット」では、「おくのほそ道」ルートの学校としての立場
ア、芭蕉の生まれ故郷の学校と(松阪中央中)
イ、芭蕉の終焉の地の学校と(石山中)
ウ、芭蕉のゆかりの地の学校と(信楽中)

[私の取り組み]

学 習 課 題	
課題を設定した理由	

学 習 方 法 (調査方法など)

学 習 計 画	
1	
2	
3	
4	